

ふくい健康の森
生きがい交流センター(1/2)

森のなかのやすらぎ空間

平成17年度の特色について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 研修室等の利用促進に努め、また、高齢者を対象としたパソコン講習会等各種講座を開催(生きがい交流センター開催分)。 ・高齢者パソコン講習会 参加実績 392人 ・高齢者いきいきフェアの開催(6回) 民謡や地域文化の発表、手工芸品、民芸品、農産物等の展示販売 参加実績 1,870名 ・生きがい創作講座の開催 木を素材とした創作活動を行い、活動に積極的な高齢者に学習の機会を提供 参加実績 46名 ・高齢者くらしの知恵伝承事業 高齢者の持つ知識、技能等を子供たちに教える事により、世代間交流の促進、伝承文化・知識等の伝承および高齢者の社会参加活動を促進 参加実績 36名 ・ニュースポーツふれあい大会 参加実績 344名 ・財団自主事業 カラオケ交流大会(2回) 参加実績 約400名 囲碁交流大会(2回) " 約104名
------	---

所在地	福井市真栗町47-51		
設置年月日	平成11年3月15日		
施設の種類	健康づくり、生きがいづくり施設	施設管理主体	(財)福井県すこやか長寿財団
設置の目的	健康で生きがいのある県民生活の確保に資するため		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート 地上2階 延3,984.7㎡ 1F 交流ホール、ふれあい研修室、いきいき工房 等 2F 健康の湯(土の湯、木の湯、福祉の湯)、くつろぎの間、音楽健康室、教養娯楽室 等		
職員数	職員9人		

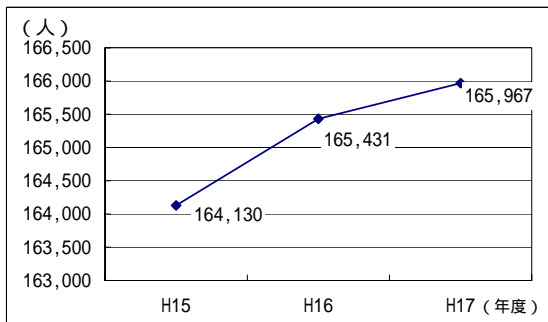
施設の活用

利用状況等

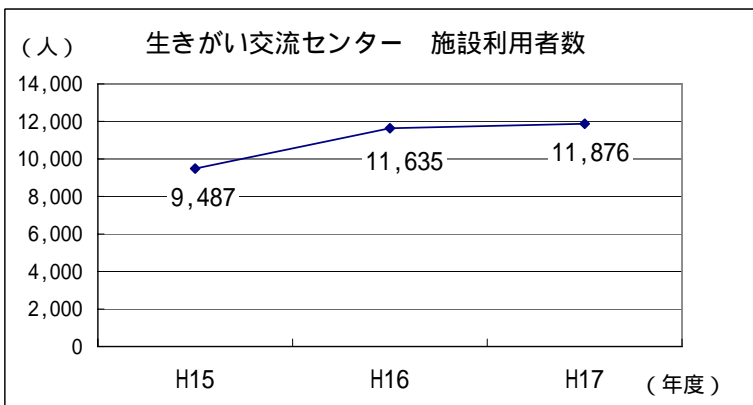
	H15	H16	H17
利用者数(人)	164,130	165,431	165,967
健康の森温泉	154,643	153,796	154,091
研修室等	9,487	11,635	11,876

利用者負担(利用料金)等

温泉入浴料金	大人	600円
	中学生	340円
	小学生以下	240円
	高齢者	480円



健康の森温泉で、心もからだもリフレッシュ!



利用状況の推移
平成11年3月のオープン以来、施設利用者数は伸び続けております。温泉利用者数においても、平成16年度に福井豪雨の影響から若干の減少となりましたが、平成16年度を除いては毎年、利用者を増やしてまいりました。
また、生きがい交流センターの施設を活用して各種事業を実施し、多くの方にご参加いただいております。

生きがい交流センター
(健康の森温泉)



施設案内、利用料金等については、上記文字をクリックしてください。
ホームページがご覧になれます。



ふくい健康の森 生きがい交流センター (2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	126,406	43.5%	92.9%
	維持補修費	12,079	4.2%	83.5%
	減価償却費	111,682	38.4%	100.2%
	計	250,167	86.1%	95.5%
その他	公債費(利子)	26,332	9.1%	49.5%
	その他	14,281	4.8%	100.2%
	計	40,613	13.9%	60.2%
合計		290,780	100.0%	88.3%

(単位 千円)

収入				
	利用料等収入	70,666	24.3%	98.0%
	その他収入	137	0.0%	101.5%
	一般財源	219,977	75.7%	85.5%

(前年比)

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	2,013,294	固定負債	657,927
投資等	0	流動負債	113,023
流動資産	0	正味資産	1,242,344
計	2,013,294	計	2,013,294

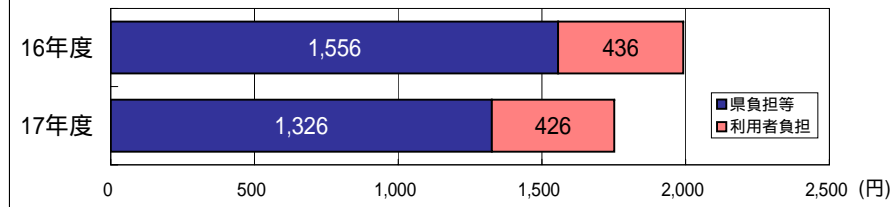


施設の特徴 各世代のくつろぎ、ふれあい、交流の場や趣味・教養等の生きがいづくり、活動の場の提供

生きがい、健康づくり等に関する情報の提供
高齢者の自立と生きがい、健康づくりに関する事業の企画・運営
高齢者の日常生活に関する総合的な相談・支援

今後の課題 平日の利用者数の増加を図る必要があります。また、健康の森内の他施設と連携を密にし、利用者の増や経費の縮減など、より効率的な管理運営を図る必要があります。

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

施設の設置が平成11年3月と比較的新しく、公債費と減価償却費の割合が高くなっています。

コストの削減とともに、利用者の増加によって、利用者1人あたりのコストは減っています。

今後の事業方針 近接する県民健康センターやけんこうスポーツセンターの施設および機能を最大限に活用し、その効果的な連携や共同事業を行うことにより、より一層の利用促進と経費縮減を図ります。

取り組み内容 健康増進、社会参加、生きがい活動の促進を図るため、健康の森を会場にふくい健康長寿祭を開催します。また、生きがい交流センターの各施設を利用した高齢者の生きがいづくりのための講座を実施します。

健康の森の他の施設と一体として、指定管理者制度への移行を行うことにより、より効果的で効率的な管理運営を行っていきます。